

## 平成30年度第4回（第233回）備中地区司書部会 議事録

日時：平成30年12月6日（木）13：00～15：00

会場：岡山県立倉敷工業高等学校

参加者：27名

記録：倉敷市立精思高等学校

井原高等学校（北校地）

### 1. 協議・連絡・情報交換（13：00～13：30）

〈高教研修学校図書館部会事務局から〉

- ・研究協議会・・・平成31年2月1日（金）倉敷ライフパークで開催予定。講師は中央大学の梅澤貴典氏。

〈司書部会理事会から〉

- ・来年50周年記念研修会・・・平成31年7月30日（火）を予定。

〈次回運営班から〉

- ・担当は第5班、総社南高校にて、2/5（火）、2/6（水）、2/7（木）のいずれかで開催予定

〈その他〉

- ・読書感想文集の集金について（矢掛高校）

- ・通信費について（水島工業高校）

通信費の名称を「会費」に変更したい。4月の合同で議題が挙がっていた。意見があれば庶務に連絡。また、欠席校への資料送付額が年によって異なっている。近隣校へ持参の協力をお願いしたい。

- ・助成金について（水島工業高校）

備中支部事務局よりいただく助成金を減らす方向で考えたい。

支部事務局から、財政難による要望が出ていた。繰越金があるので問題ないと思われるが、会計担当者と再度確認する。

次回司書部会で決定したい。

- ・通帳の名義について（清心女子高校）

名義が長いので、次年度会計スタート時に短く名義変更することを提案する。

- ・オススメ本について（総社高校）

表紙のみだが一覧を配布。

※ネット研の発言・連絡事項は、合同司書部会議事録を参照のこと

## 2. 研修「思考ツールで授業支援！」(13:30～15:00)

### (1) 思考ツールについて概説

### (2) 思考ツールを活用した授業の例

#### ・総社高校(家政科1年/家庭総合)

豪雨災害を機会に、災害時に外国人が困らないためのポスターを作成。マインドマップを活用。

#### ・倉敷青陵高校(総合的な学習の時間・図書委員会)

新聞の読み比べでは相違点や共通点を見つけるベン図を活用。課題研究や図書委員会ではマッピングを活用するなど、授業内容や生徒に合わせて思考ツールを使い分けた。

### (3) グループに分かれて思考ツールの活用方法を話し合い、共有

#### 〈Aグループ〉教科：総学(進路学習)

イメージマップを作成することで自分の将来図を視覚化し、客観的に分析(「自分のことを知ろう」)。その後、「幸せになるためには」というテーマでピラミッドストラクチャーを作成し、お金・人間関係・自分の心・家庭などについて、考えを整理することができた。教員側は生徒が作成した図によって生徒の関心を知ることができ、生徒の目標に合わせた資料収集および提供に使えることが分かった。

#### 〈Bグループ〉教科：進路

各校の進路状況が様々であるため、フィッシュボーンを用い、どのような進路があるのかをまとめた。「大学へ進学するためにはどうすればよいのか」「卒業するためには」「高校へ行くためには」など、内容を整理した後、さらに深めたいテーマを「大学へ進学するためにはどうすればよいのか」に絞り、クラゲチャートを用いて、ある一人の生徒を設定して自己分析をした。目標に対しての理由や根拠を書き出すことで、論理的な説得が生まれた。

#### 〈Cグループ〉教科：図書委員会

図書館の来館者を増やすという目標を設定し、各校の取り組みやアイデアを出した。それらをフィッシュボーンを用いて「広報」「館内業務」「企画」「名もなき挑戦」という4つの要素に整理することで、これから取り組んでいくべきことが見つかった。今後の委員会活動に活かしていきたい。

#### 〈Dグループ〉教科：社会

「スマホの校内持込についての是非」というディベートテーマでバタフライチャートを作成した。賛成・反対の意見を書き出すことで多方面から考えることができた。また、どちらかに偏ることなく、バランスよく書かなければ、という意識を持つことができた。

その後、反対意見を基にマンダラートを作成した。様々な関連事項が見え、より意見・考えを深めることができた。

#### 〈Eグループ〉教科：保健

「健やかに生きるには」というテーマでマッピングを用いた。規則正しい生活を送る、など思いつくものを挙げ、具体的に取り上げるものをピラミッドストラクチャーで絞ることで、調べていくことが見つかった。自由に発言できて話も深まり、大変盛り上がった。